

一般社団法人全日本機密文書裁断協会

平成 29 年度 事業計画

方針

平成 28 年度は広報活動を重点事業項目と設定し、市場へ機密抹消の重要性と環境配慮の取り組みの必要性を訴求しながら、裁断サービスの普及活動および、会の知名度向上に取り組んで参りました。

今年度に関しても、引き続き広報活動を重点事業項目と設定し、目的に応じた効果的な広報となるよう、構成及び訴求方法を検討するとともに、効果が見込まれる広報活動において継続した訴求を行い、文書排出事業者等へ機密文書の機密抹消およびリサイクルについての関心喚起、理解促進の機会を継続的に創出します。あわせて、省庁並びに関係団体と連携・協議を行うことで、更なる機密文書の裁断事業に対する社会の信頼性・認知度の向上を図ります。

また、これまで実施してきた研修勉強会の開催、表彰制度、カーボンオフセットおよび会員企業間の情報交換等の各種事業も継続して実施し、機密文書裁断に関する事業の振興と社会への貢献を推進するとともに、サービスの品質向上と会の活性化を図ります。

1. 裁断業務の品質対策

(1) 定例研修勉強会の実施

機密文書の裁断業務に適正にあたる実務者を育て、情報の抹消を依頼する方々の信頼を得る業務品質実現を目的に、会員の実務スキルアップと知識習得の場を提供する。また、会員相互の交流の場、意見交換の場としても活用し、会員間のネットワーク構築を図る。

(2) 表彰制度

情報漏洩防止と環境に対する意識向上及び取り組みの推進を目的に、会の発展に寄与もしくは社会貢献活動に積極的に取り組んでいる会員企業の表彰を行う。

(3) 機密文書裁断抹消処理士認証制度の運営

平成 28 年度に開始した機密文書裁断抹消処理士認証制度に関して、より整った制度確立のため、内容の整備を進める。外部監修を受けながら「機密文書裁断サービス業務品質向上リサイクルマニュアル」をベースとした「機密文書裁断サービス業務品質向上の手引書」を作成する。業務に携わる者が正しい知識や手順を身につけることで、会員・協会の業務品質向上と統一感のある協会ブランドの訴求を行う。

(4) 会員企業間の連携強化

今年度もブロック活動助成金制度を継続し、これまで以上に会員企業間の連携強化を進める。会員企業間の情報交換を密にしていくことで、文書裁断サービスの全国組織として、その連携・交流機能を最大限に活用し、サービスの品質向上と本協会更には業界の活性化に結び付ける。

2. 広報宣伝活動

重点事業項目として二期目の今年度は、情報発信を核にした、いわゆる協会外への広報活動だけで終えるのではなく、効果の正しい分析を行い、結果が表面に出ない場合も多いため効果測定が難しい面もあるが、総合的に評価して今後の効果的・効率的な広報活動につなげる。

(1) 展示会への出展

継続してこそ効果が見えてくる部分があるため、平成 28 年度に引き続き「オフィスセキュリティ EXPO」への出展を行う。前回の反省をふまえながら継続的に出展することで裁断サービスの普及活動並びに会の知名度アップの高い成果を目指す。

（２）メディアへの広告出稿

裁断サービスの普及活動並びに会の知名度アップに取り組むため、メディアへの露出を増やす。機密文書処理の担当者が総務・人事部門に多いことから、総務部門の指針として読まれる雑誌「月間総務」に出稿メディアを絞り広告を掲載する。

３．組織力の強化

組織の充実・強化を図るため、賛助会員制度を活用し、協会事業の目的に賛同し事業に協力・支援をいただける企業に対して積極的な加入推進に努める。会員募集リーフレットの配布を行うなど、各種施策を進め全会一丸となった組織的な会員増強を図る。

４．環境保護活動の推進・貢献活動の実施

（１）文書リサイクルの促進

資源リサイクルの観点から、文書の裁断サービスの必要性を発信し、事業を適正に推進することで、紙資源のリサイクルを促進し循環形社会の実現に寄与する。

（２）カーボンオフセットの継続実施

機密文書の裁断サービスでは、ご利用の際のエネルギー消費によって二酸化炭素がやむなく排出されてしまうため、「カーボンオフセット」に取り組み二酸化炭素をオフセットすることで、セキュリティはもちろんのこと、より環境に配慮した安心・確実なサービスを提供する。